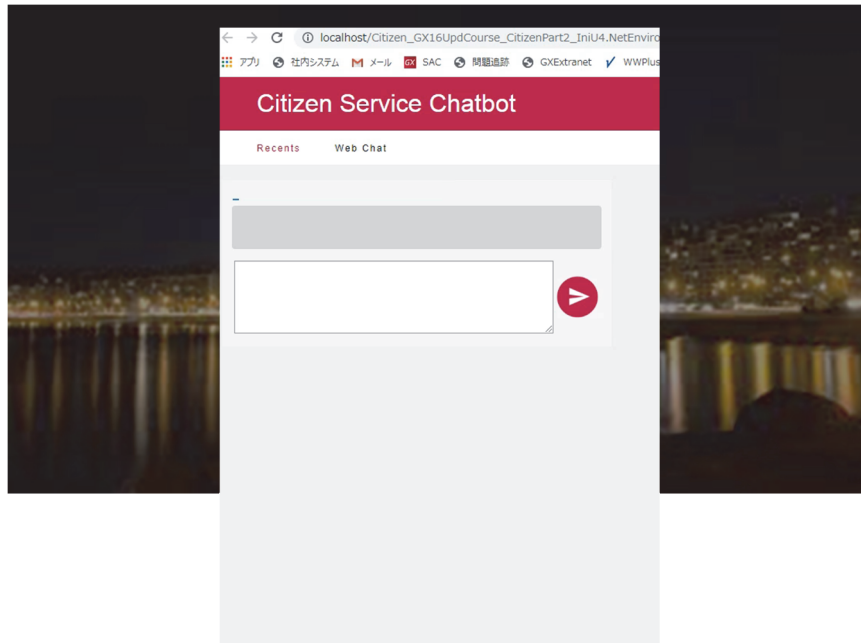


GeneXus での チャットボットの使用



チャットボットは会話をシミュレーションするプログラムです。ユーザーの質問や意図に応じて、情報を提供したり、アクションを実行したりできます。通常はテキストでやりとりしますが、Cortana、Siri、Google アシスタントのように、マルチメディアインターフェースを使用して音声をテキストに、あるいはテキストを音声にして会話することもできます。では、チャットボットを使用した会話のデモをご紹介します。



この動画では、市民情報アシスタントの動作をご覧ください。

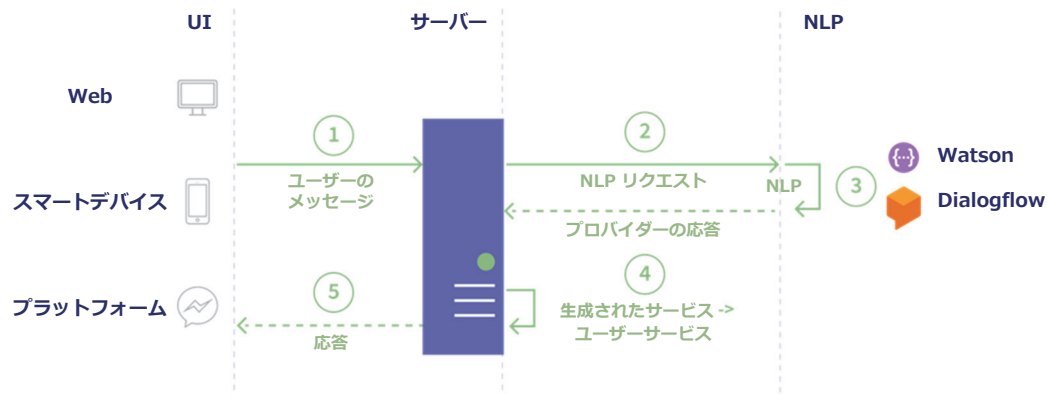
ユーザーが質問を入力すると、チャットボットが選択肢を提示します (アクティビティに関する情報か行政手続きか)。

ユーザーがアクティビティを選択するとチャットボットがもう一度選択肢を提示してくるので、ユーザーは屋外のアクティビティに関する情報をリクエストします。

チャットボットは植物園、市場、日本庭園の情報が記載されたパネルを表示します。

その後、ユーザーが訪問のスケジュール設定をリクエストして日時を選択すると、チャットボットは訪問日時をスケジュール設定します。

チャットボットジェネレーターのアーキテクチャ



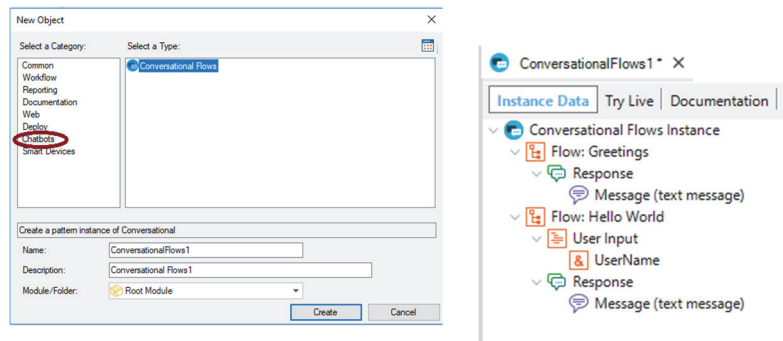
チャットボットはどのような仕組みで動作するのでしょうか。
チャットボットはボキャブラリーライブラリと人工知能のアルゴリズムを使用して質問からキーワードを抽出し、応答を組み立てます。

チャットボットが動作する基本のアーキテクチャをご覧ください。

ユーザーは、Web、スマートデバイス、またはメッセージクライアントからメッセージを入力できます。入力したメッセージは Web サーバーに送信され、そこで自然言語処理 (NLP) サービスプロバイダーと通信します。
GeneXus で現在使用しているサーバーは、IBM Watson と Google Dialogflow です。これらのサーバーは人工知能を使用しているため、サービスの利用が増えるほど結果が良くなります。

NLP プロバイダーが送信した応答を Web サーバーが解釈し、書式を整えてユーザーに表示する最終的な応答にします。

Conversational Flow オブジェクト



詳細情報:

<https://wiki.genexus.com/commwiki/servlet/wiki?38520>

1006

GeneXus では、チャットボットを構築するために Conversational Flows オブジェクトを作成します。
その後、会話のタイプ、メッセージ、回答候補などのデータを設定してフローを定義します。
詳細については、次の Wiki を参照してください:
<https://wiki.genexus.com/commwiki/servlet/wiki?38520>